



平成30年4月2日

文科省委託「教科教育モデルコアカリキュラムの策定事業」
小学校教員養成教科教育コアカリキュラム案を作成

現在、全国の大学が文部科学省に教職課程認定を申請する際には、基礎となるコアカリキュラムと対応することが求められている。広島大学教育学部初等カリキュラム開発講座が中心となって行った本事業は、このコアカリキュラム（小学校教員養成）の原案となるものを作成し文部科学省に報告したものである。

今後、全国の国公私立大学の教員養成課程において、広島大学が中心となって策定したコアカリキュラムをベースとしたカリキュラムが今後作成され実行される可能性が高い。

成果の波及効果は以下のとおりである。

1. 教員としての力量形成に効果的に資するモデルコアカリキュラムを開発し、シラバス案を提示したことにより、次世代の小学校教員養成課程のスタンダードを示した。
2. 本事業に拠って策定した広島大学スタンダードは、全国の国公私立大学の全ての教員養成課程におけるカリキュラム／シラバス作成に根本的な影響を与えるものとなる。
3. すでに本スタンダードは国際的な学会で一部報告されており、世界的にも注目されるものとなっている。

※本事業の成果報告書は、広島大学大学院教育学研究科のHPにて閲覧できます。<<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/>>

【お問い合わせ先】

文部科学省委託 教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業
事務担当 中島 一恵 TEL: 082-424-7074
初等カリキュラム開発講座事務職員
石田 昌子 TEL: 082-424-7169

【テーマ7】 広島大学大学院教育学研究科

『学び続ける教員』を育成する小学校教員養成モデルコアカリキュラムの開発

本調査研究の概要

◆本調査研究の目的

- 全国の教員養成課程で実施可能な汎用性を持つ小学校の教科教育モデルコアカリキュラムを開発する
- 大学の教職課程における教科教育の質の向上を目指す

◆本調査研究の実施方法

- ①東京学芸大学調査（「英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業」について）
- ②西日本地区小学校教員養成大学61校（国公立大24・私大37）のシラバス調査
- ③①②を踏まえ、本学教員でコアカリキュラム案を作成
- ④本学教員、他大学教員、広島県教委指導主事、広島市教委指導主事、小学校教員からなる教科グループ（総勢56名）でコアカリキュラム案を検討
- ⑤報告会（平成30年1月20日実施、106名参加）でコアカリキュラム案を公表し、意見を求める
- ⑥意見を踏まえて、小学校教科教育モデルコアカリキュラムの完成

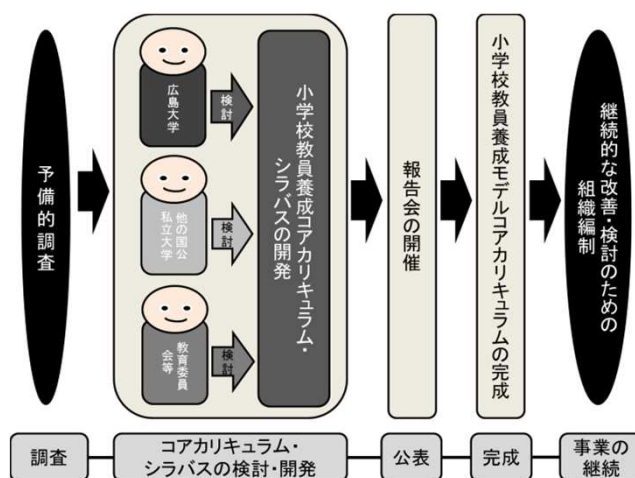
本調査研究の特徴・成果

◆本調査研究で開発したモデルコアカリキュラムの特徴

- ①各教科の内容や指導法について、全国の大学で共通的に習得させるべき資質能力を育むものである
- ②シラバスが複数提示されているため、どの大学においても実施可能な汎用性を備えている
- ③大学教員、教育委員会関係者、小学校教員など、多様な立場からの意見が反映されている

◆成果

- ①上記の特徴を備えたモデルコアカリキュラムの開発とシラバス案の提示
⇒次世代の小学校教員養成課程のスタンダードを示した
- ②モデルコアカリキュラムの開発の際、多様な立場からの意見や多角的な知見を反映
⇒カリキュラムの質的転換を進める意義やその内容を広く周知させた
- ③モデルコアカリキュラムを継続的に検討する共同体の編成
⇒本コアカリキュラムを運用させながら、継続的に改善する



今後の活動

◆広島教員養成コンソーシアム（仮称）の設立

広島県内の小学校教員養成の発展と改善を継続的に行うことを目的として、広島教員養成コンソーシアム(仮称)を設立する。構成員は、教員養成課程を持つ国公立大学の教員、教育委員会、小学校教員等である。平成29年度「初等教育カリキュラム学会大会」において提案した。